



元気な相撲を神様に奉納

はっけふ〜りの
のつた!

6月9日(金)住吉・白山奉納相撲大会が開催されました。小学生・園児の取り組みでは恒例の三人抜きも行われ、勝負ごとに大きな歓声があがりました。また園児による相撲甚句では、何日も前から練習した成果を発揮！元気な掛け声と男らしい演技を見せてくれました。そして可愛らしい幼児による初土俵。きよとんとしている子もいれば、大きな声で泣き出す子などいて、多くの人の笑顔誘いました。大人の迫力ある取り組みもすばらしかったです！今年度も生月町が平和で安全な町でありますように。。



見事三人抜き！

旧園舎にありがとう おいでませ生小へ！

『めばえ保育園』が新しく生まれ変わります！園舎建て替えに伴い、これまでの園舎とのお別れ会が行われました。地域にも馴染みが深く、思い出がいっぱい詰まった旧園舎。これまでに巣立っていった587名の卒園児や関係者、地域の方などからは寂しいなど惜しまれる声も聞かれました。また、新しいお部屋が楽しみ！といった新園舎への期待の声も少なからずあり、今から完成が心待ちにされています。



6月19日(月)から6月23日(金)の5日間、生月小学校にて『生っ子の心を見つめる教育週間』として学校開放が行われました。通常の授業はもちろん、いつもはなかなか見られない掃除や給食時間も見学ができるという貴重な行事。22日(木)には地域の老人会の方とのふれあい集会が行われ、俳句の発表会や生徒の手作りゲームで盛り上がりました。孫世代とあまり交流がないという方からは「一緒に楽しめる行事があり、大変うれしい！」と喜びのコメントもありました。楽しい時間をありがとうございました！



いさりび

このコーナーは生月の歴史・伝統文化・自然について独断と偏見で紹介するコーナーです！歴史は書き換えられるもの・・・
年号、記述の相違は読者の知識でご理解ください。

第3回 大碇鼻灯台

生月地区まちづくり運営協議会のロゴマークにもなっている大碇鼻灯台は生月島の北端に位置し、そこからは海と空が溶け合う雄大で素晴らしい景観が眺望できます。碇(はえ)とは海に突き出した岬状の岩礁を言い、断崖の北側に広がる岩礁が大バ工です。断崖の高さは80メートルでその上に立つのが白亜の大バ工灯台です。そもそも付近一帯は戦時中の要塞跡で、砲台と深照灯が設置されていました。灯台はこのときの弾薬庫をそのまま使用しており、基礎部分の石垣には当時の姿を偲ぶことができます。昭和33年1月25日初点灯(大碇鼻灯台銘板より)。現在の大バ工灯台は平成14年3月26日に改修され展望台も設置されました。最頂部は海拔101メートル、光が届く距離は13.5海里(約25km、ほぼ宇久島までの距離)とされています。大バ工突端に立つコンクリートの柱には反射板を設置し、灯台からの照射灯により九州北西海域の船舶の海上安全に重要な役割を果たしています(佐世保海上保安部 交通課)。落陽とともに浮かび上がる漁火を見ながら、果てしない大海原を満喫されてはいかがでしょうか。



次回は馬の生産地『牧』牧場です！
お楽しみに！！